

イノウエ

「エンジン提案」を本格展開

顧客の期待追求 火力発電展示会でPR



来場者の関心を集めたイノウエのブース（右が井上社長、左は西館伸一・イノウエ工品質保証部部長）

スワンレス・高機能合金流通のイノウエ（本社＝東京都千代田区、井上茂樹社長）は、日立営業所（茨城県日立市）を主体に展開する「エンジン提案」を本格始動した。同社は2019年2月27日、3月1日に東京ビッグサイト（東京国際展示場）で開催された「第3回次世代火力発電EXPO」に出展し、エンジン提案を積極的にアピールしており、来場者の関心を集めた。

低炭素社会実現に向けて、近年、高効率で環境負荷の少ない次世代火力発電システムに注目が集まっている。

「第3回次世代火力発電EXPO」は発電プラント建設をはじめ、保守運用に必要な制御システム、エンジン提案技術、プラント部品、タビレボイラなどを展示すること

で、先端技術をアピールする火力発電分野では国内最大級のイベント。

イノウエは、同EXPOに18年から2年連続で出展。今回は19年1月1日付で開設した日立営業所の設計人材を主体とする「エンジン提案」をアピール。計画段階から需要家と一体になり、

材料・加工を絡めた設計提案を推進している。

イノウエは同EXPO出展にあたって、パートナー企業である日本ニューロン（本社＝京都府相楽郡精華町）の伸縮管継手、タンパ、また日本タイヤバルブ（本社＝東京都品川区）のバルブも展示。その一方で、鍛造品メーカー

であるシモダフランジ（本社＝兵庫県相生市）と共同出展した。井上・イノウエ社長は、「会社のミッションである『お客様の期待に応えたい。それがいきたい』を追い求めた結果、事業が広がっている。今回も需要家の課題を発見し、それを解決して期待に応じて、力を付けていきたい」と語った。